

国 令和二年度 入学試験問題

令和二年二月三日 実施

東京女学館中学校

(字数制限のある場合、国語解答用紙
句読点・カッコなどはすべて字数に数えます。)

一 問一 a b c d 問二 異 同 問三

問四 馬を思いどおりに動かすこと。

問五 両側の歩道を散歩する大ぜいの人々。

問六 問七

問八 ばあさんが死ぬまで入院費を支払わなければならぬのかと思つたから。

問九 ばあさんが本当は具合が悪くないことを証明してもらうため。

問十 陰険そうだな

問十一 働かずにピクトルのお金で安楽な病院生活を送ること。

問十二 問十三

問一 習い事の月謝が口座引き落としになり、封筒や現金の準備が必要になつて手渡しよりも手間がなくなつた。

問二 問三 問四

問五 (1) (2) 問六 効率化優先の社会

問七 受動的 問八 (1) 向き

問九 (1) 「不便だからこそ、良いことがある」という前向きな考え方。

(2) エスカレーターに乗らず、階段を利用する。不便で疲れれるからこそ、足腰の鍛錬になる。

9	5	1
補う	意気投合	潔白
10	6	2
伝染	編む	標準
	7	3
	降参	波乱
	8	4
	点呼	演技

評点

受験番号

氏名